

室内楽で聴く

ロマンと野性のラテンアメリカ

ピアノ：下山 静香
チェロ：寺田 達郎

ヴァイオリン：金関 環

パーカッション：佐藤 唯史



2025年11月5日(水) 19:00開演
18:30開場

JR 京浜東北線・東京メトロ南北線「王子」駅 徒歩2分

北とぴあつづじホール



ほくとぴあチケットオンライン

Program

- M アルトウーロ・マルケス：ダンソン No.2 [Pf.& Perc.]
- A アルベルト・ヒナステラ：パンペアナ第2番 [Vc.& Pf.]
- B エイトル・ヴィラ=ロボス：黒鳥の歌 [Vc.& Pf.]
- C エルネスト・レクオーナ：アフロ - キューバ舞曲集より [Pf.& Perc.]
- M マヌエル：ポンセ：エストレーリータ [Vi.& Pf.]
- A カルロス・グアスタビーノ：ラス・プレゼンシアス第7番「ロシータ・イグレシアス」[Vi.& Pf.]
- B エイトル・ヴィラ=ロボス：ピアノ三重奏曲第2番より 第2楽章 ベルスーズ [Vi., Vc., Pf.]
- A アストル・ピアソラ：ブエノスアイレスの冬／ブエノスアイレスの秋 [Vi., Vc., Pf.]



北とぴあ国際音楽祭 2025
全公演の情報はこちら

【チケット】7/10(木)発売 全席自由 一般：4000円 北区民割引／グラシア会員：3500円 学生（大学生以下。放送大学は除く）：2000円／当日：4500円
北区民割引：東京都北区にお住まいの方は割引価格（3,500円）で購入できます（web・窓口合わせてお一人様4枚まで）。取り扱いは、ほくとぴあチケットオンライン（要事前登録）、北とぴあ1階チケット売り場のみとなります。窓口では北区在住を確認できるもの（免許証、保険証など）をご提示ください。

【チケットお取り扱い】ほくとぴあチケットオンライン <https://p-ticket.jp/kitabunka>

北とぴあ1階チケット売場（窓口のみ／10:00～20:00 臨時休館日は18:00まで、全館休館日は休業）

7歳より入場可。／車いすでご来場の方は、チケットをお求めの上、事前に（公財）北区文化振興財団 tel.03-5390-1221までご連絡ください。

主催：ミューズ・グラシア お問合せ：museogracia.ss@gmail.com 共催：（公財）北区文化振興財団・東京都北区

後援：アルゼンチン共和国大使館 駐日ブラジル大使館 駐日キューバ共和国大使館 在日メキシコ大使館

インスティゥット・セルバンテス東京 一般社団法人ラテンアメリカ協会 NPO 法人イスパニカ文化経済交流協会

一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）日本スペインピアノ音楽学会

後援



スペインおよびラテンアメリカ音楽のスペシャリストとして活躍する下山静香が、信頼するアーティストたちとともに〈北とぴあ国際音楽祭〉に初登場! メキシコの国民的作曲家ポンセ、現代作曲家マルケスの人気曲、唯一無二の魅力をたたえるブラジルのヴィラ=ロボス、キューバのリズムがはずむレクオーナ…そしてアルゼンチンからは、巨匠アルベルト・ヒナステラ、タンゴの革命児アストル・ピアソラ、現代のロマン派カルロス・グアスタビーノ作品を様々なアンサンブルで演奏する。

—さあ、ラテンアメリカ音楽の地平へ!

Profile

金関 環 (Tamaki KANASEKI) ~ violin ~

豊かな表現力と多彩な音色で、巨匠時代の演奏スタイルを受け継ぐ稀有なヴァイオリニスト。高校在学中に才能を見出され、卒業と同時に渡米しジュリアード音楽院に入学。ジョセフ・フックス教授の門下となり、数々の偉大な弦楽器奏者たちにも学びながら、NYのオーケストラやジャズシーンでも活躍。同音楽院修士課程修了後、ジョセフ・フックス教授の助手に就任。南北アメリカ大陸やアジアでリサイタル、室内楽などの公演を行い、コロンビア共和国、NYをはじめとする各地のオーケストラと協奏曲を共演。

東京シティフィルハーモニック管弦楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団などで客演コンサートマスターを務めるほか、多岐にわたる活動を展開している。

2019年度吹田市文化功労賞。



寺田 達郎 (Tatsuro TERADA) ~ cello ~

愛知県岡崎市生まれ。鈴木メソードによりチェロを始める。桐朋学園大学卒業。チェロを久保田顕、中尾恵子、毛利伯郎、林俊明、チョー・ヨンニ・チャンの各氏に、室内楽を東京カルテット、パノハカルテット、岩崎淑、藤井一興に師事。第11回、第13回宮崎国際音楽祭、東京チェロアンサンブル、ヤングプラハ国際音楽祭ガラコンサートなどに出演。名古屋音楽学校のイギリス公演にソリストとして同行。2013年にはアメリカのHot Springs Music Festivalに招待され室内楽を演奏。また、トリオ・ムジーク・ケラーのメンバーとして、ピティナ主催のピアノ三重奏曲全曲録音プロジェクトに参加中。大阪交響楽団を経て、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団をはじめ多くのオーケストラで客演首席奏者を務めている。



下山 静香 (Shizuka SHIMOYAMA) ~ piano ~

「知性と感性に優れた演奏」「透明な抒情性と詩情に満ちた佳演」などと評される。演奏ではソロ・室内楽・録音と活動しながら、他ジャンルとのコラボレーションや、朗読や舞踊をとりいれた企画など独自の世界を開拓する。99年文化庁派遣芸術家在外研修員として渡西。スペインおよびイベロアメリカ音楽のエキスパートとして知られ、NHK-BS「クラシック俱楽部」「ぴあのピア」、Eテレ「ららら♪クラシック」などに出演。これまで「スペイン・ラテンアメリカ室内楽シリーズ」「ラテンアメリカに魅せられて」「音楽×美術」「おんがく×ブンガク」などのシリーズを主宰。ソロCD14枚をリリース、5枚は『レコード芸術』誌で特選盤。執筆家としては専門書からエッセイまで幅広くこなす。桐朋学園大学、東京大学にて非常勤講師。日本スペインピアノ音楽学会理事。



佐藤 唯史 (Tadashi SATO) ~ percussion ~

尚美学園短期大学打楽器科卒業。1998年キューバに渡り、コンガをホセ・ルイス・キンタナ(チャンギート)、タタ・ヴィネス、オスカル・バルデスに、ティンバレスをカリスト・オビエドに師事。現在、東京キューパンボーズの専属ボンゴ奏者、角田健一ビッグバンドのレギュラーメンバーを務めるほか、宗次郎、神野美伽、岩崎宏美、水樹奈々をはじめとする数多くのアーティストのステージを支えるミュージシャンとして、オールジャンルで活躍している。映画《レッドクリフ》(ジョン・ウー監督作品)では、和太鼓でサウンドトラックに参加。パークッシュのみならず作詞・作曲家としても活動、長野県小川村テーマソング「大地からの贈り物」作詞作曲のほか、ペドロ&カブリシャスのアルバム《Treinta Años》の〈MOON〉、白鳥英美子のアルバム《クロスマイハート》のタイトルソングなどを作曲している。



主催：ミューズ・グラシア お問合せ：musegracia.ss@gmail.com
共催：(公財) 北区文化振興財団・東京都北区

後援：アルゼンチン共和国大使館 駐日ブラジル大使館

駐日キューバ共和国大使館 在日メキシコ大使館

インスティゥット・セルバンテス東京 一般社団法人ラテンアメリカ協会

NPO 法人イスパニカ文化経済交流協会

一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ) 日本スペインピアノ音楽学会



Access

